

「盛岡いのちの電話」にご支援をいただき 深く感謝申し上げます

社会福祉法人盛岡いのちの電話 理事長 右京 昌久

盛岡いのちの電話にご理解とご支援をいただき深く感謝申し上げます。

2022年度の活動報告と2023年度の活動計画について報告いたします。

2022年（1月～12月）の受信件数は10,293件で、前年より3,042件増加しました。これはコロナ禍による感染防止策が緩和され縮小していた電話当番態勢も通常に戻ったためです。

男女別では、男性6,013件、女性4,280件でした。自殺傾向の件数は974件(男性503件、女性471件)で、全体の9.5%を占めています。相談内容では人生の悩みや孤独、病気など多岐にわたりますが、コロナ禍が原因の失業、生活困窮、家庭不和なども多くありました。

電話相談は、2年間の研修を経て認定された市民ボランティアが担当し、正午から午後9時（休日は午後6時）まで1年間365日休むことなく受信しています。専門的な立場ではなく、一市民として、“良き隣人”として耳を傾け寄り添います。ボランティア数は現在60名ほどです。毎年10名前後が新たに認定を受けていますが、一方で家族の介護や仕事の都合などで休務したり、辞退される方がおり、なかなか増えないのが現状です。

盛岡いのちの電話は、1991（平成3）年1月に東北では仙台に次いで開局しました。30年を超える自殺防止活動も、電話ボランティアや寄付を寄せてくださる資金ボランティアに支えられてのものです。2023年度は、前年10月に試行導入した県民対象の電話「盛岡いのちの電話ころろライン」（毎月1日、15日）を本実施しました。

いのちの電話は、ささやかな活動ですが、悩みや苦しみに電話を通して寄り添い、新たに生きる力を呼び戻していただく大きな力になり得ると信じております。どうかこれからもご支援宜しく願いいたします。

社会福祉法人盛岡いのちの電話2022年度事業報告

2022年4月1日～2023年3月31日

1. 電話センターの運営

(1) 受信時間

- ・盛岡いのちの電話 毎日12時～21時（日曜日12時～18時）
番号 019-654-7575
- ・自殺予防いのちの電話 毎月10日 12時～21時（日曜日12時～18時）
番号 0120-783-556
- ・盛岡いのちの電話こころライン（県民向け電話）の試行
毎月1日, 15日 12時～21時（日曜日12時～18時）
番号 019-622-1717
- ・インターネット相談 月1～2回（1回約3時間）

(2) 受信体制

- ① 電話ボランティアの3区分時間帯による交代は予定通り実施した。
- ② 2名体制はコロナ禍による電話室の密防止のため一時1名とした。
- ③ 電話ボランティアのケア体制は事務局、専門家で対応した。
- ④ 新規の受信録音のホームページ掲載は準備不足で保留とした。

(3) 県民向け相談電話の試行

- ① 新規事業として岩手県福祉基金の助成を得て10月から試行した。
- ② 岩手県、盛岡市の自殺対策推進協議会等でこころラインのチラシ等を配布して周知を図った。精神科のある病院にもポスターを郵送し周知を図った。

(4) インターネット相談

インターネット相談ボランティア9名
実施回数 12回（2022年1月～12月）
受信件数 22件（男8件、女14件）
内自殺傾向件数 8件（男5件、女3件）

(5) 電話ボランティア認定（2023年3月31日現在）

延べ認定者 252名（1期～32期生）
他センター認定者 2名
実働者 67名（32期生6名含む）
休務者 37名

(6) 受信件数（2022年1月1日～12月31日）

全受信件数 11,607件
対話件数 10,293件（男6013件、女4280件）
内自殺傾向件数 974件（男503件、女471件）
無言電話件数 1314件

(7) 新型コロナウイルス感染対策の実施

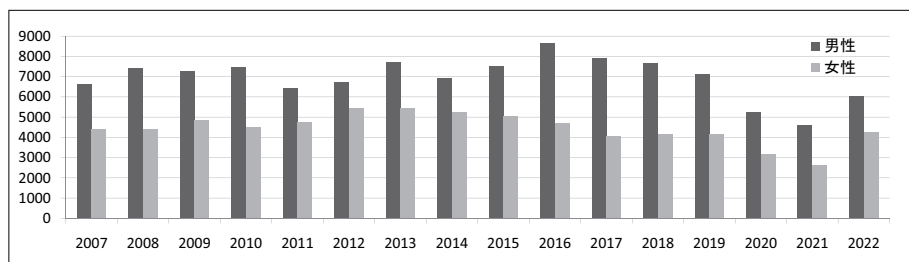
- ・電話室、事務局、研修室の換気対策のためサーキュレーター、空気清浄器等を設置したほか、相談員の交代時には換気のため10分間無人とするなど対策をとった。

受信件数の推移（過去16年間 2007年から2022年）

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
男性	6613	7404	7269	7438	6427	6740	7691	6921
女性	4400	4406	4863	4498	4749	5439	5418	5241
合計	11013	11810	12132	11936	11176	12179	13109	12162

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
男性	7490	8636	7916	7669	7102	5250	4614	6013
女性	5044	4695	4040	4172	4147	3183	2637	4280
合計	12534	13331	11956	11841	11249	8433	7251	10293

※1991年から2022年までの総受信件数は男性161,611、女性110,574件、合計272,185件となります。



2022年電話受信件数報告（受信件数10,293件 内、自殺傾向974件）

2022年（1月～12月）の総受信件数は10,293件（男6,013件、女4,280件）でした。

前年より3,042件増えていますが、2021年にコロナ感染予防対策のため受信体制を縮小しましたが、2022年は通常体制にもどり受信したことが要因です。男女の割合では男性58.4%、女性41.6%と男性の割合が高くなっています。

相談内容別では、最も多いのが人生（生き方・生きがい、死別、孤独等）2,787件、次いで精神（うつ、統合失調症等の苦しみ）1,516件、家族（不満、介護、虐待等）1302件、対人（不和、トラブル、いじめ、孤立、生活等）1,244件、身体（慢性疾患、癌、難病等）766件、となっております。

自殺傾向のある電話（念慮有、危険、予告等）は974件（男性503件、女性471件）で総受信件数の9.5%（前年8.5%）でした。また、年代別では、40代が最も多く2,594件、次いで50代2,201件、60代1,845件、30代1,438件の順となり、前年度とほぼ同じ傾向です。

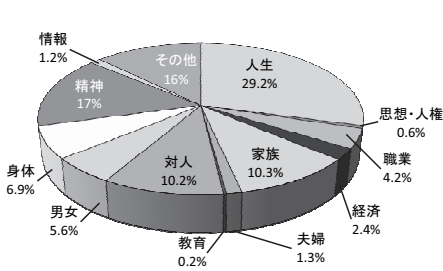
毎月10日に行われている自殺予防のちの電話「フリーダイヤル」での受信217件（男性98件、女性119件）、自殺傾向59件（男性22件、女性37件）も含まれております。

このデータは受けた電話を誠実に確認し、よりよい聴き手として成長するための振り返りとしております。それ以外の目的には用いないことをお約束します。この報告をご覧になる皆様にもご配慮下さいますようお願いいたします。

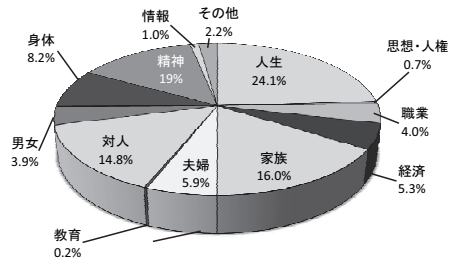
2022年（1月～12月）内容別受信件数

	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
男性	1757	34	251	143	617	78	14	611	336	413	929	74	756	6013
女性	1030	28	170	228	685	253	10	633	167	353	587	43	93	4280
合計	2787	62	421	371	1302	331	24	1244	503	766	1516	117	849	10293

男性

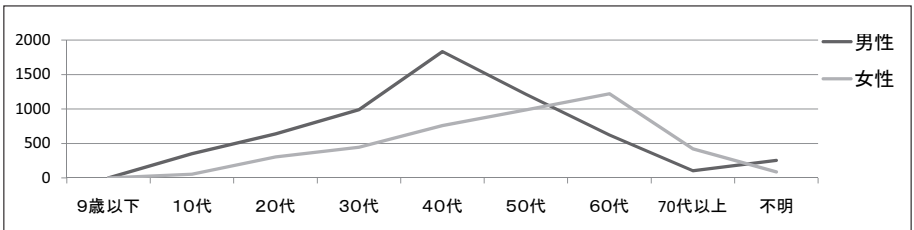


女性



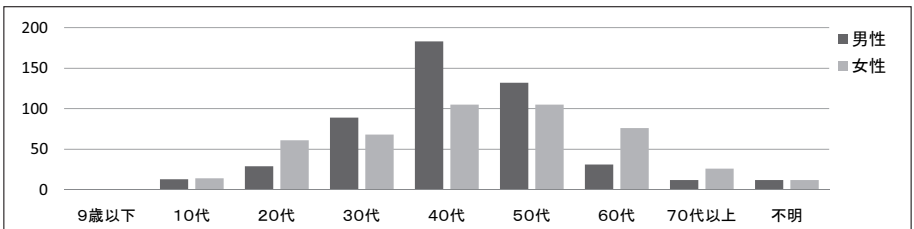
2022年（1月～12月）年代別受信件数

	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男性	0	353	640	992	1834	1214	623	104	253	6013
女性	0	53	303	446	760	987	1222	422	87	4280
合計	0	406	943	1438	2594	2201	1845	526	340	10293



2022年自殺傾向年代別

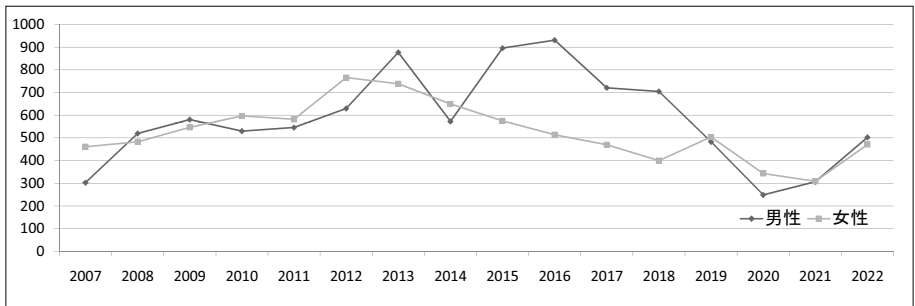
	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男性	0	13	29	89	183	132	31	12	12	501
女性	0	14	61	68	105	105	76	26	12	467
合計	0	27	90	157	288	237	107	37	24	968



自殺傾向の推移（過去16年間 2007年から2022年）

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
男性	303	520	581	530	546	630	877	573
女性	461	483	547	597	582	766	739	650
合計	764	1003	1128	1127	1128	1396	1616	1223
比率%	6.9	8.5	9.3	9.4	10.0	11.0	12.3	10.1

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
男性	896	931	721	705	483	249	307	503
女性	575	514	470	400	504	343	309	471
合計	1471	1445	1191	1105	987	592	616	974
比率%	11.7	10.8	10.0	9.3	8.8	7.0	8.5	9.5



盛岡いのちの電話インターネット受信件数の推移（2011年から2022年）

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
男性	68(26)	42(23)	39(21)	34(18)	37(22)	34(11)	26(12)	21(11)	20(11)	23(12)	16(8)	8(5)
女性	71(42)	58(34)	92(46)	93(40)	84(53)	76(49)	62(39)	34(19)	61(34)	29(17)	23(9)	14(3)
その他	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	4(1)	2(2)	-(-)
合計	119(68)	100(57)	131(67)	127(58)	121(75)	110(60)	88(51)	55(30)	81(45)	56(30)	41(19)	22(8)

() は自殺傾向のある件数

2. 会務運営

(1) 諸会議の開催

① 理事会（10回）

- 第1回 2022年4月19日
協議：定時評議員会の招集事項について
事務局長の不在について
- 第2回 2022年5月24日
議事：2021年度事業報告について
2021年度収支決算について
理事候補者の推薦について
定時評議員会の招集事項について
- 第3回 2022年6月21日
協議：委員会について
2022年度公開講座について
後援会役員の推薦について

- 第4回 2022年7月19日
協議：日本いのちの電話連盟総会
日本いのちの電話連盟事務局長会議
県民電話の進捗状況
- 第5回 2022年9月20日
議事：職員就業規程の改正及び非常勤職員の賃金引上げについて
- 第6回 2022年10月25日
議事：電話・録音機材更新に伴う設備工事契約について
- 第7回 2022年11月22日
協議：認定式と一日研修の合同開催について
- 第8回 2023年1月24日
協議：2023年度事業計画について
評議委員会の日程について
- 第9回 2023年2月21日
議事：2022年度収支補正予算について
2023年度事業計画について
2023年度収支予算について
評議員会の招集事項について
監事の欠員に伴う後任監事候補者の推薦について
- 第10回 2023年3月14日
議事：定款施行細則の改正について
経理規程の改正について
- ② 評議員会（2回）
定時評議員会 2022年6月21日
議事：2021年度収支決算について
理事の欠員補充選任について
第2回評議員会 2023年3月14日
議事：2022年度収支補正予算について
2023年度事業計画について
2023年度収支予算について
監事の欠員に伴う後任監事選任について
- ③ 監査の実施及び出納調査
決算監査 2022年 5月11日
出納調査 2022年 4月12日（1月～3月分）
2022年 7月12日（4月～6月分）
2022年10月12日（7月～9月分）
2023年1月12日（10月～12月分）
- ④ 研修担当者会議
2022年12月20日（メール会議）
- ⑤ 認定会議
2022年12月26日
- ⑥ 広報委員会
第1回 2022年5月24日
第2回 2022年9月2日
第3回 2022年10月24日
第4回 2023年1月30日

- ⑦ カード委員会
 - 第1回 2022年4月26日
 - 第2回 2022年5月31日
 - 第3回 2022年6月28日
 - 第4回 2022年9月27日
 - 第5回 2022年10月31日
 - 第6回 2022年11月28日
 - 第7回 2023年1月16日
 - 第8回 2023年2月13日
 - 第9回 2023年3月20日

- ⑧ 組織検討委員会
 - 第1回 2022年10月25日

- ⑨ 受信環境充実委員会
 - 第1回 2022年9月20日

- (2) 第32回認定証授与式・一日研修の開催
 - 2023年2月5日
 - 認定者 32期生6名

3. 研修事業

- (1) 電話ボランティア研修の見直し

- ① 新規事業として第1課程から第4課程までトータルで検討し、一部内容を見直した。
- ② 継続研修では逐語だけではなくロールプレイも導入、効果を挙げた。
- ③ 新規の研修記録保存要領の策定は現状の調査に着手した。
- ④ 頻回者等対応研究班は一日研修で成果を披露するなどした。
- ⑤ 頻回者・緊急電話等対策委員会では同研究班の成果を踏まえ検討した。

- (2) 電話ボランティア募集（第34回公開講座）及び研修

・34期生の募集及び研修
第1課程

- 1回 9月3日 「いのちの電話とは－歴史と理念－
盛岡いのちの電話理事長 右京 昌久 氏
- 2回 9月10日 「思春期・青年期の心理－現代の若者のこころ－
岩手大学准教授 早坂 浩志 氏
- 3回 9月17日 「依存症・使用障害の理解－両義的な思いを聴くこと－
岩手県立大学講師 泉 啓 氏
- 4回 9月24日 「現代社会の家族と社会的つながり」
臨床心理士 大竹美貴子 氏
- 5回 10月8日 「ブリーフセラピーのコミュニケーション」
岩手大学教授 奥野 雅子 氏
- 6回 10月15日 「カウンセリングについて－基礎理論－
岩手大学名誉教授 山口 浩 氏
- 7回 10月22日 「カウンセリングについて－応用－
岩手大学教授 織田 信男 氏
- 8回 11月5日 「こころの病－病を抱える方への理解－
岩手医科大学非常勤講師 遠藤 仁 氏

- 9回 11月12日 「現代社会とこころの危機―ストレスの表れ―」
岩手医科大学講師 藤澤 美穂 氏
- 10回 11月19日 「自殺予防活動の現状と電話相談―自殺予防の取組みから―」
未来の風せいわ病院理事長 智田 文徳 氏

(3) 電話ボランティアの養成

- ① 34期生（対面のほかYouTubeによるウェブ開催を行った。）

全科目受講者 29名 一部科目受講者 5名

- ② 33期生の研修

第2課程 6月4日 オリエンテーション及び研修、以下7月16日まで6回
人間関係基礎訓練 10名受講

講師 土屋文彦氏、研修スタッフ（ファシリテーター）4名

第3課程 9月10日 オリエンテーション及び研修、以下
11月12日まで6回 ロールプレイによる演習 9名受講

講師 山口浩氏、研修スタッフ（ファシリテーター）4名

第4課程 電話実習及び研修 2月から 6名

- ③ 32期生の研修

第4課程電話実習及びグループ研修、認定会議を経て6名認定

(4) 電話ボランティア認定者継続研修（1期～31期生）

- ① 継続研修（8回 グループ研修）

4月～7月、9月～12月8回 8グループ

講師 青山正紀氏、大竹美貴子氏、奥野雅子氏、織田信男氏、中村美津子氏、
早坂浩志氏、藤澤美穂氏、山館圭子氏、立原聖子氏

- ② 全体研修（一日研修）

期間 2023年2月5日

内容・担当講師

ア 精神障がい者の方々からの電話対応「基本知っておきたい知識」

盛岡いのちの電話理事 智田 文徳 氏

イ 頻回者等対応研究班報告

盛岡いのちの電話理事・研修副委員長 藤澤 美穂 氏

ウ 緊急危機介入電話のロールプレイ

盛岡いのちの電話理事・研修委員長 山口 浩 氏

4 広報・事業要覧の発行

- (1) 広報の発行（4回 各1,800部）
131号（7月10日）、132号（10月10日）
133号（12月1日）、134号（3月20日）
- (2) 事業要覧の発行（10月 1,300部）
2021年度事業報告・決算及び2022年度事業計画・予算
- (3) ホームページ等については現状維持だった。

5 財務基盤の強化

- ・チャリティーコンサートを後援会と共催した。
- ・岩手大学の協力により募金箱を作製した。 50個

6 自殺予防いのちの電話への参加

(1) フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」の受信（毎月10日）

0120-783-556（受信件数は2022年1月～12月分）

全国 時間 午前8時～翌日午前8時まで49センター参加

総受信件数 53,884件（男25,570件、女28,314件）

自殺傾向件数 12,040件（男5,267件、女6,773件）

盛岡 時間 12時から21時まで（日曜日は12時から18時）

総受信件数 217件（男98件、女119件）

自殺傾向件数 59件（男22件、女37件）

(2) 自殺予防公開講座の開催

期 間 2022年12月3日

参加者 約70名

テーマ 「生き心地の良さ」って何だろう

講 師 情報システム研究機構統計数理研究所

特任准教授 岡 檀 氏

(3) 自殺対策緊急強化事業の実施

（再掲）ボランティア募集及び養成研修の実施

（再掲）広報及び事業要覧の発行

(4) 「いのちの電話」についての講演等講師

〈高校生対象〉

「SOSの出し方」「メンタルヘルス講話」等、5月10日～1月7日まで計8回

（智田理事）

〈中学生対象〉

「ネット依存」「SOSの出し方」「みんなで生きる」等、中学生対象に5月31日～1月26日まで計23回（智田理事）

〈小学生対象〉

「ネットゲーム依存予防」「SOSの出し方」等、6月1日～2月7日まで計18回（智田理事）

〈市町村職員、教職員、保護者等対象〉

・「ネット依存」「こころの健康」「発達障害と不登校」等、

4月20日～3月11日まで計29回（智田理事）

・「こころの健康講座」2月8日 平泉町（右京理事長）

7 日本いのちの電話連盟関係及び岩手県等諸会議への参加と連携

(1) 連盟関係

- ・定時社員総会 6月25日
- ・2022年度事務局長会議・研修会 7月2日（ウェブ会議）
- ・公益社団法人化推進委員会 2月6日（ウェブ会議）
- ・東北ブロック会議 2月7日（ウェブ会議）

(2) 岩手県、盛岡市等の関係

- ・令和4年度第1回盛岡市自殺対策推進連絡会議 5月30日
- ・令和4年度岩手県自殺対策推進協議会 11月10日
- ・令和4年度第1回自殺対策計画推進・評価委員会 2月10日
- ・令和4年度2回盛岡市自殺対策推進連絡会議 2月20日
- ・令和4年度第2回自殺対策計画推進・評価委員会 3月27日（ウェブ会議）

8 盛岡いのちの電話後援会活動との連携

- (1) 後援会総会 2022年7月29日
- (2) チャリティー事業
 - ・チャリティーコンサート
2022年12月18日(日) 14時00分 県民会館大ホール
岩手県立不來方高等学校音楽部 入場者 約1085名
 - ・春のチャリティーコンサート
2023年3月5日(日) 14時00分
盛岡市民文化ホール大ホール 入場者527名
盛岡コメット混声合唱団・盛岡第四高等学校音楽部
- (3) 盛岡市ボランティア連絡協議会ふれあい広場への参加
 - ・盛岡市のクロステラスで開催のポスター展示に参加

2022年度苦情受付状況

2022年4月1日より2023年3月31日までに受け付けた苦情です。

苦情総件数 21件=男性9件、女性12件 ()内は前年度実績

内 容	件 数
不快な思いをした	6 (7)
対応が良くない	4 (4)
途中で切られた	2 (3)
質問攻めにあった	0 (0)
電話がつかまらない(出ない)	6 (10)
要望	9 (1)
合計	21 (18)

苦情対応

苦情の21件は電話によりいずれも本人から事務局に寄せられたものです。
事務局の苦情受付担当者の対応ですべて解決しております。

社会福祉法人盛岡いのちの電話2022年度決算報告

資金収支計算書

第一号第一様式

(自)2022年4月1日 (至)2023年3月31日

単位：円

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	事業収入	3,460,000	3,337,661	122,339
		経常経費寄附金収入	8,000,000	9,230,716	△ 1,230,716
		受取利息配当金収入	20,000	422	19,578
		その他の収入	120,000	35,000	85,000
		事業活動収入計(1)	11,600,000	12,603,799	△ 1,003,799
	支出	人件費支出	5,450,000	4,728,178	721,822
		事業費支出	5,560,000	4,954,119	605,881
		事務費支出	1,760,000	1,428,554	331,446
		事業活動支出計(2)	12,770,000	11,110,851	1,659,149
	事業活動資金収支差額3)=(1)-(2)		△ 1,170,000	1,492,948	△ 2,662,948
施設整備等による収支等	収入	施設整備等収入計(4)	0	0	0
		固定資産取得支出	2,500,000	2,497,000	3,000
	支出	施設整備等支出計(5)	2,500,000	2,497,000	3,000
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 2,500,000	△ 2,497,000
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)	0	0	0
		その他の活動支出計(8)	0	0	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		0	0	0
	予備費支出(10)		44,000 △ 0	—	44,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 3,714,000	△ 1,004,052	△ 2,709,948	

前期末支払資金残高(12)	6,815,746	6,815,746	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	3,101,746	5,811,694	△ 2,709,948

社会福祉事業 事業活動収支計算書

第二号第一様式

(自)2022年4月1日 (至)2023年3月31日

単位：円

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	事業収益	3,337,661	4,664,198	△ 1,326,537
		経常経費寄附金収益	9,230,716	7,170,922	2,059,794
		サービス活動収益計(1)	12,568,377	11,835,120	733,257
	費用	人件費	4,728,178	4,503,970	224,208
		事業費	4,954,119	4,107,846	846,273
		事務費	1,428,554	1,439,963	△ 11,409
		減価償却費	410,665	276,150	134,515
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 282,441	△ 259,980	△ 22,461
		サービス活動費用計(2)	11,239,075	10,067,949	1,171,126
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,329,302	1,767,171	△ 437,869
外サービス活動増減の部	収益	受取利息配当金収益	422	440	△ 18
		その他のサービス活動外収益	35,000	1,000	34,000
		サービス活動外収益計(4)	35,422	1,440	33,982
	費用	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
			サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	35,422	1,440
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,364,724	1,768,611	△ 403,887
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	1,100,000	△ 1,100,000
		特別収益計(8)	0	1,100,000	△ 1,100,000
	費用	固定資産売却損・処分損	2	3	△ 1
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,100,000	△ 1,100,000
		特別費用計(9)	2	1,100,003	△ 1,100,001
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2	△ 3	1
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,364,722	1,768,608	△ 403,886
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		6,862,912	5,094,304	1,768,608
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		8,227,634	6,862,912	1,364,722
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		8,227,634	6,862,912	1,364,722

貸借対照表

第三号第一様式

2023年3月31日現在

単位：円

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	5,830,512	6,829,860	△ 999,348	流動負債	18,818	14,114	4,704
現金預金	4,241,285	5,115,358	△ 874,073	職員預り金	18,818	14,114	4,704
未収金	14,815	0	14,815	固定負債	0	0	0
未収補助金	1,574,412	1,714,502	△ 140,090				
固定資産	30,121,020	28,034,687	2,086,333	負債の部合計	18,818	14,114	4,704
基本財産	13,000,000	13,000,000	0	純 資 産 の 部			
定期預金	13,000,000	13,000,000	0	基本金	13,000,000	13,000,000	0
その他の固定資産	17,121,020	15,034,687	2,086,333	第1号基本金	13,000,000	13,000,000	0
器具及び備品	3,121,020	1,034,687	2,086,333	国庫補助金等特別積立金	705,080	987,521	△ 282,441
基本財産積立資産	4,000,000	4,000,000	0	その他の積立金	14,000,000	14,000,000	0
設備拡充積立資産	500,000	500,000	0	基本財産積立金	4,000,000	4,000,000	0
財務調整積立資産	9,500,000	9,500,000	0	設備拡充積立金	500,000	500,000	0
				財務調整積立金	9,500,000	9,500,000	0
				次期繰越活動増減差額	8,227,634	6,862,912	1,364,722
				(うち当期活動増減差額)	1,364,722	1,768,608	△ 403,886
				純資産の部合計	35,932,714	34,850,433	1,082,281
資産の部合計	35,951,532	34,864,547	1,086,985	負債及び純資産の部合計	35,951,532	34,864,547	1,086,985

財 産 目 録

2022年3月31日現在

資産・負債の内訳	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
普通預金 岩手銀行本店営業部他	4,241,285
小 計	4,241,285
未収金 シンカブル	14,815
未収補助金 岩手県	1,574,412
流 動 資 産 合 計	5,830,512
2 固定資産	
(1) 基本財産	
定期預金 岩手銀行本店営業部他	13,000,000
基 本 財 産 合 計	13,000,000
(2) その他の固定資産	
器具及び備品 電話機器他10件	3,121,020
基本財産積立資産 岩手銀行本店営業部	4,000,000
設備拡充積立資産 岩手銀行本店営業部	500,000
財政調整積立資産 岩手銀行本店営業部	9,500,000
その他の固定資産合計	17,121,020
固 定 資 産 合 計	30,121,020
資 産 合 計	35,951,532
II 負債の部	
1 流動負債	
職員預り金 源泉所得税1～3月他	18,818
流 動 負 債 合 計	18,818
2 固定負債	
固 定 負 債 合 計	0
負 債 合 計	18,818
差 引 純 資 産	35,932,714

監 査 報 告 書

2023年5月10日

社会福祉法人盛岡いのちの電話
理事長 右京 昌久 殿

監事

丹代 一志



監事

岩 浅 武 雄



私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

社会福祉法人盛岡いのちの電話2023年度事業計画

2023年4月1日～2024年3月31日

1 電話センターの運営

- (1) 受話受信時間
毎日12時から21時までの9時間（ただし日曜日は12時から18時まで）
- (2) 受信体制の充実
 - ① 電話ボランティアが3区分の時間帯を交替で受信
 - ② 各時間帯での2名体制を順次強化
 - ③ 電話ボランティアのケア体制（事務局、専門家）を強化
 - ④ （新規）電話ボランティアの手引書改定
 - ⑤ （新規）電話ボランティアの表彰、休務者の復帰、定年制の仕組みの具体化
- (3) 県民向け相談電話の本実施
（新規）県民向け相談電話の実施。月2回（1日、15日の月2日間）
- (4) インターネット相談の実施
月1～3回、相談員9名
- (5) 電話ボランティアの認定
認定在籍者107名、うち実働者70名（うち実習中7名）、休務者37名
電話ボランティア新規認定予定（33期生、7名）

2 会務運営

- (1) 諸会議の開催
 - ① 理事会6回以上（8月、12月を除く）
 - ② 評議員会2回（6月、3月）
 - ③ 研修担当者会議2回（7月、12月）
 - ④ カード委員会6回以上
 - ⑤ 広報委員会4回（7月、10月、12月、3月の発行月前）
 - ⑥ 電話ボランティア応募者面談会議1回（3月）
 - ⑦ 電話ボランティア認定会議1回（12月）
 - ⑧ 組織検討委員会4回（7月、10月）
 - ⑨ 受信環充実委員会3回（5月、9月）
 - ⑩ 頻回者・緊急電話等対策委員会3回（6月、10月）
- (2) 監査及び出納調査
 - ① 監査1回（5月）
 - ② 出納調査4回（4月、7月、10月、1月）
- (3) 電話ボランティア認定式
1月（一日研修と合同開催）
- (4) 事業要覧の発行
7月

3 研修事業

- (1) 電話ボランティア研修内容の見直し
- (2) 電話ボランティアの募集
35期電話ボランティアの募集（7月）、第1課程（公開講座）申込者数50名目標
- (3) 電話ボランティア養成研修
 - ① 35期50名目標（第1課程：公開講座）

- ② 34期生12名（第2課程5月～7月、第3課程9月～12月）
 - ③ 33期生7名（第4課程5月～2月）電話実習、実習課題研修、継続研修
 - (4) 電話ボランティア継続研修
 - ① 認定者継続研修
8回、前期（4月～7月）、後期（9月～12月）
 - ② 認定者一日研修
1回、1月
 - (5) 公開講座の開催
10回、1回2時間、募集定員50名、開催月9月～12月
- ## 4 広報活動
- (1) 広報紙の発行 4回（7月、10月、12月、3月）
 - (2) ホームページの改良、Facebookの運営
- ## 5 財務基盤の強化
- 寄付募集の多角化などを後援会と協議、強化する

6 自殺予防いのちの電話への参加

- (1) 全国フリーダイヤル（日本のちの電話連盟）の受信
毎月10日実施（通常受信時間帯で対応）
- (2) 自殺予防公開講座の開催
1回、11月

7 いのちの電話関連諸会議への参加

- (1) 日本のちの電話連盟
 - ① 総会
 - ② 事務局長会議
 - ③ 自殺予防シンポジウム
 - ④ 第38回いのちの電話相談員全国研修会福島大会（10月26日～28日）
 - ⑤ インターネット相談担当者会議
- (2) 関係機関との連携
 - ① 岩手県自殺対策推進協議会、自殺対策計画推進評価委員会
 - ② 盛岡市自殺対策推進連絡会議
 - ③ 岩手県犯罪被害者対策連絡会
 - ④ 日本司法支援センター岩手地方協議会

8 盛岡いのちの電話後援会との連携

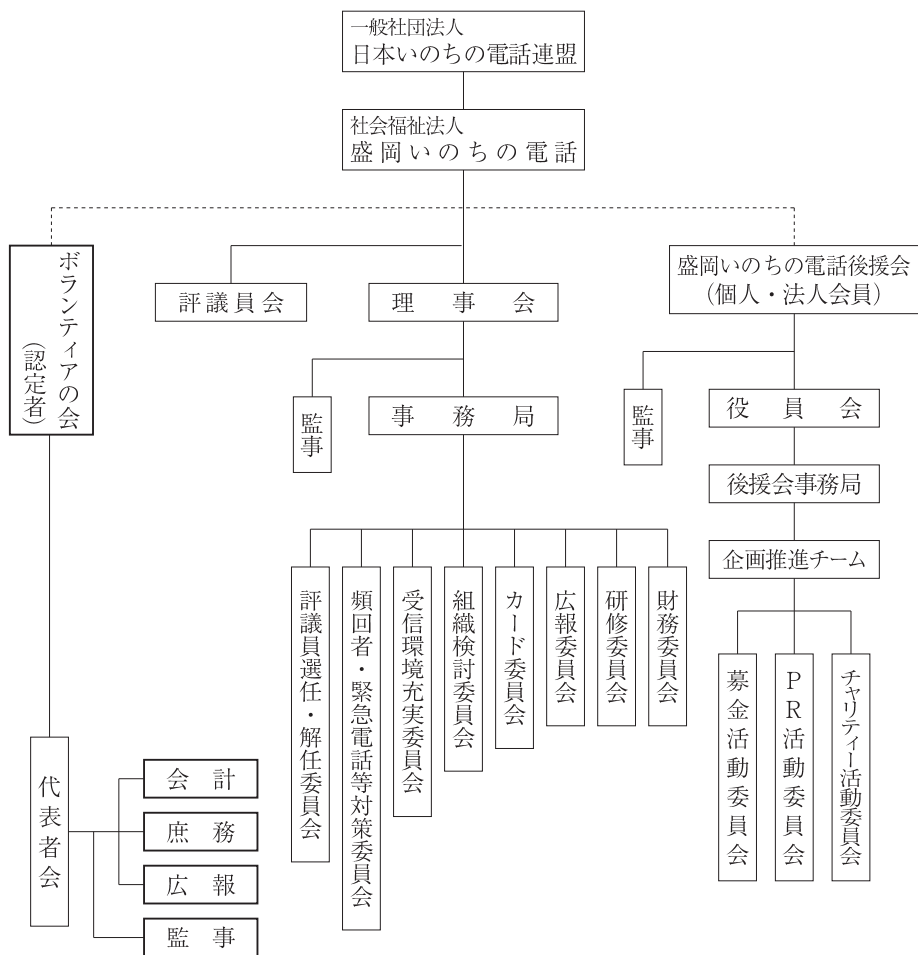
- (1) 定時総会
- (2) 会員交流会
- (3) チャリティコンサート
- (4) 盛岡市ボランティア連絡協議会への参加
- (5) いのちの電話啓発事業
いのちの電話に関する講師の派遣

2023年度社会福祉法人盛岡いのちの電話予算

2023年4月1日～2024年3月31日 (単位：円)

		今年度予算	備考
収入	経常経費寄附金収入	8,000,000	
	事業収入	1,102,000	
	補助金事業収入	1,000	
	助成金事業収入	1,000	
	受託事業収入	600,000	
	その他の事業収入	500,000	
	受取利息配当金収入	20,000	
	その他の収入	120,000	
	受入研修費収入	100,000	
	雑収入	20,000	
	経常収入計(1)	9,242,000	
	人件費支出	5,450,000	
	職員給与支出	2,100,000	
	非常勤職員給与支出	3,000,000	
法定福利費	350,000		
事業費支出	5,080,000		
諸謝金支出	1,000,000		
旅費交通費支出	450,000		
日用品費支出	250,000		
消耗器具備品費支出	100,000		
印刷製本費支出	600,000		
水道光熱費支出	20,000		
燃料費支出	50,000		
修繕費支出	10,000		
通信運搬費支出	600,000		
会議費支出	300,000		
広報費支出	300,000		
業務委託費支出	1,000,000		
手数料支出	70,000		
賃借料支出	300,000		
雑支出	30,000		
事務費支出	1,760,000		
福利厚生費支出	20,000		
旅費交通費支出	10,000		
研修研究費	20,000		
事務消耗品費支出	50,000		
印刷製本費支出	20,000		
水道光熱費支出	15,000		
燃料費支出	30,000		
通信運搬費支出	60,000		
会議費支出	40,000		
賃借料支出	55,000		
土地建物賃借料支出	980,000		
渉外費支出	30,000		
諸会費支出	400,000		
雑支出	30,000		
経常支出計(2)	12,290,000		
事業活動による収支差額(3)=(1)-(2)	△ 3,048,000		
収支等 設備整備 による	収入	施設設備等補助金収入(4)	0
	支出	固定資産取得支出(5)	0
その他の活動 による収支	収入	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
	収入	積立資産取崩収入	0
		積立資産取崩収入	3,100,000
		財務調整積立資産取崩収入	3,100,000
	財務収入計(7)	3,100,000	
	支出	積立資産積立支出	0
		積立資産積立支出	0
		財務支出計(8)	0
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,100,000	
	予備費(10)	53,000	
資金収支額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,000		
前期末支払資金残高(12)	1,000		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0		

盛岡いのちの電話 《組織図》



盛岡いのちの電話の沿革

1. 開局に至るまでの経緯

- 1987年3月 盛岡市内の有志が呼び掛け「いのちの電話」について読書会・座談会等を開き研鑽。このグループを母体に「いのちの電話」を考える会が誕生
- 1988年 学校保健研究会員により「いのちの電話設立準備会」が誕生。
両者の融合、統一を求め座談会等を開催する
- 1989年6月 「いのちの電話準備会」発足。設立準備委員選出、事務局を開設、設立に向け、準備委員長に久保木高氏
- 9月 「盛岡いのちの電話発起人総会」開催。313名の発起人の賛同を得る。
記念講演開催 広報第1号発行
- 11月 日本いのちの電話連盟より名称使用許可
- 1990年1月～5月 第1回公開講座開催（昼・夜 2回実施）
5月～12月 1期生の養成研修、開局準備
- 1991年1月 開局（いのちの電話34番目のセンター）理事長 久保木 高氏
- 1月27日 発起人集会・開局式
28日 受信開始（午後5時～9時）

2. 開局後の経過

- 1992年3月～2001年5月 理事長 佐藤 淳氏
- 1993年2月1日 受信時間延長（午後1時～9時）
- 1993年11月27日 盛岡いのちの電話後援会設立
- 1994年2月1日 受信時間延長（正午～9時）
- 1995年11月19日 「長寿社会と心の健康」シンポジウム開催
- 1996年・1997年 「かんぼ心の健康セミナー」開催
- 1997年3月28日 社会福祉法人として設立許可
- 1998年4月～2001年3月 岩手県長寿社会振興財団助成事業
「エフエム岩手 明日への手紙 放送」
- 2000年 社会福祉・医療事業団助成事業「子育て支援事業」
- 2001年2月 開局10周年記念式典
- 2001年6月～2004年10月 理事長 久保木 高氏
- 2004年10月～現在 理事長 金澤 弘幸氏
- 2001年～2006年の12月1日～7日 自殺予防いのちの電話受信（フリーダイヤル）
- 2003年～2013年 自殺予防公開講座「いのちあってこそ」開催
- 2004年8月 受信時間延長（日曜受信開始 正午～午後6時）
- 2006年1月 1000時間受信者顕彰開始
- 2007年1月～ 研修スタッフ（ファシリテーター）養成
- 2007年9月～ 現在 毎月10日 自殺予防いのちの電話受信（フリーダイヤル）
- 2008年12月～ 自殺予防いのちの電話受信時間延長（午前9時～午後9時）
- 2009年～ 自殺対策緊急強化事業実施
- 2009年10月 苦情解決規程の制定
- 2011年1月 インターネット相談員養成、試行開始
- 2011年2月 開局20周年記念式典
- 2011年3月・9月～2013年9月 いのちの電話震災フリーダイヤル受信
- 2012年4月～ インターネット相談事業開始
- 2004年10月～2020年9月 理事長 金澤 弘幸氏
2020年10月～現在 理事長 右京 昌久氏

社会福祉法人盛岡いのちの電話《役員名簿》

〈理事〉（任期2021.6.22～2023年度定期評議員会終結の時まで）

理事長 右京昌久（岩手県社会福祉協議会 岩手県福祉サービス運営適正化委員会事務局長）
業務執行理事 及川正彦（盛岡いのちの電話事務局長）
理事 伊藤裕子（盛岡いのちの電話後援会事務局長）
川下洋美（産業カウンセラー）
熊地美枝（岩手医科大学看護学部 地域包括ケア講座准教授）
佐藤克也（前株いわぎんクレジットサービス代表取締役社長）
智田文徳（未来の風せいわ病院理事長）
中原陽子（日本キリスト教団内丸教会牧師）
畠山将樹（弁護士）
藤澤美穂（公認心理師・臨床心理士）
電話ボランティアの会 1名

〈監事〉 岩浅武雄（前盛岡いのちの電話理事）
丹代一志（税理士）

〈評議員〉（任期2021.6.22～2025年度定期評議員会終結の時まで）

阿部孝司（社会福祉法人カナンの園奥中山学園部長兼園長）
阿部東龍（東楽寺住職）
岩根多喜男（社会福祉法人いきいき牧場理事長）
遠藤仁（三田記念病院医師）
河邊邦博（社会福祉法人愛育園理事長）
工藤洋子（社会福祉活動経験者）
工藤隆一（株式会社わしの尾代表取締役会長）
齊藤恵子（みたけ消化器内科クリニック顧問）
佐藤悟（元岩手県部長）
佐々木愛美（国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ）
高橋俊一（元中学校長）
東藤郁夫（元盛岡市部長）
長岡美代子（元看護師）
藤澤克典（藤澤司法書士事務所司法書士）
松浦裕介（日本基督教団下ノ橋教会牧師）
松尾正弘（教浄寺住職善友保育園園長）
松本静毅（有限会社カメラのキクヤ代表取締役）
眞山重博（カトリック四ツ家教会委員長）
武蔵文武（盛岡市ボランティア連絡協議会副会長）

〈評議員選任・解任委員〉（2021年4月21日から2025年度定時評議員会終結の時まで）

青木慎一郎（岩手県立大学名誉教授）
下川原弘志（社会福祉法人盛岡いのちの電話監事）
土屋文彦（土屋心理支援オフィス代表理事）
（非公開）（社会福祉法人盛岡いのちの電話事務局長）

（五十音順）

社会福祉法人盛岡いのちの電話委員会名簿他

〈研修委員会〉

委員長 藤澤 美穂
 智田 文徳
 熊地 美枝

〈カード委員会〉

委員長 川下 洋美
 及川 正彦
ほかにボランティア2名

〈財務委員会〉

委員長 佐藤 克也
 伊藤 裕子

〈ボランティアの会〉

電話ボランティアの会長

〈広報委員会〉

委員長 畠山 将樹
 及川 正彦
ほかにボランティア2名

〈後援会担当〉

事務局長 伊藤 裕子
ほかにボランティア1名

〈研修担当者〉

委員長 藤澤 美穂（岩手医科大学）
担当者 大竹美貴子（臨床心理士）
 奥野 雅子（岩手大学）
 織田 信男（岩手大学）
 佐々木志帆子（臨床心理士）
 立原 聖子（岩手大学）
 土屋 文彦（臨床心理士 土屋心理支援オフィス）
 早坂 浩志（岩手大学）
 山館 圭子（臨床心理士 栃内第2病院）
 小岩 健祐（岩手県立病院 主任公認心理師）
研修スタッフ（ファシリテーター）5名

◆苦情解決制度についてのお知らせ

相談者からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、苦情解決の仕組みを整えています。

苦情受付 盛岡いのちの電話事務局 電話 019-652-4162
第三者委員 早坂浩志 長岡美代子

○2022年度苦情受付状況

受付件数	21件（男9 女12）	すべて事務局対応のみ
内 容	不快な思いをした	6件
	電話が繋がらない	6件
	要望	9件

「盛岡いのちの電話後援会」後援会の歩み及び 2022年度事業実施報告 2023年度事業計画

盛岡いのちの電話後援会は、社会福祉法人盛岡いのちの電話の活動資金を援助する組織として、1993年11月27日に設立された。

2022年度 盛岡いのちの電話後援会事業実施報告

- 2022年度会員募集運動の継続推進
 - 新規会員の募集並びに会員の寄付金振込状況の把握
 - 法人・個人会員の新規加入勧誘活動の推進
 - 協賛広告依頼による新規会員の開拓
 - 啓発活動
 - 2022年10月30日(日)13:00～ボランティア祭り「ふれあい広場」参加
 - 盛岡市ボランティア連絡協議会ポスターセッション参加
 - I B Cラジオ番組出演・テレビいわて・朝日テレビPR出演等
 - 募金活動
 - 法人の募金箱作成協力(50個)
 - チャリティーコンサート、会員交流会会場にて募金活動
- 事業の実施
 - チャリティーコンサートの開催
 - 演奏団体 岩手県立不来方高等学校音楽部
 - 実施期日 2022年12月18日(日)14:00開演
 - 開催場所 岩手県民会館大ホール
 - 入場料 自由席・一般1,000円(当日1,500円) 高校生以下700円(当日1,000円)
 - 販売枚数:1,383枚 入場者数:1,085名 協賛広告:43社
 - 会員交流会の実施
 - 実施日時 2023年2月7日(火)18:30～20:30
 - 開催場所 メトロポリタン盛岡本館 4階「岩手の間」
 - 会費 10,000円
 - 参加人数:51名
 - 春のチャリティーコンサートの実施
 - 演奏団体 盛岡コメット混声合唱団
岩手県立盛岡第四高等学校音楽部
 - 実施日時 2023年3月5日(日)14:00開演
 - 入場料 自由席・一般1,000円(当日1,500円) 高校生以下700円(当日1,000円)
 - 販売枚数:674枚 入場者数:527名 協賛広告:68社
- 組織活動
 - 定期総会の開催
 - 日時 2022年7月29日(金)9:30～10:30
 - 場所 盛岡市総合福祉センター 2階ボランティアルーム 参加者:25名
 - 役員会の開催
 - 第1回役員会 2022年7月27日(金)10:30～11:30 盛岡市総合福祉センター 14名参加
 - 第2回役員会 2022年11月8日(火)10:30～12:00 盛岡市総合福祉センター 15名参加
 - 第3回役員会 2023年1月12日(木)10:30～12:00 盛岡市総合福祉センター 13名参加
 - 第4回役員会 2023年2月22日(水)10:30～12:00 盛岡市総合福祉センター 13名参加

2023年度 盛岡いのちの電話後援会事業計画

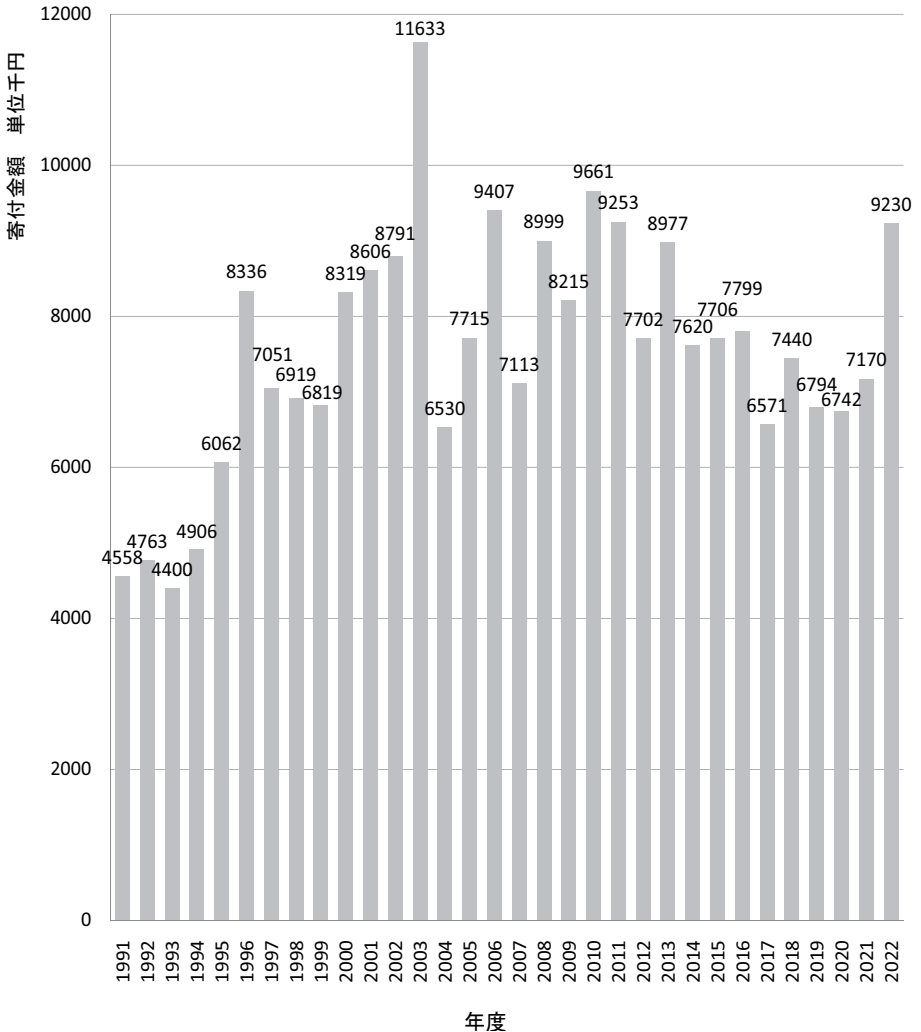
- 2023年度会員募集運動の継続推進
 - 新規会員の募集並びに会員の寄付金振込状況の把握
 - 法人・個人会員の新規加入勧誘活動の推進
 - 県内各地区啓発活動 奥州市予定
 - 募金活動
- 事業の実施
 - コンサートの開催
 - ミニコンサート
 - 9月から10月開催予定・演奏団体・場所検討中
 - チャリティーコンサート
 - 演奏団体 岩手県立不来方高等学校音楽部
 - 実施期日 2023年12月17日(日) 午後開演予定
 - 開催場所 トーサイクラシックホール岩手・大ホール(岩手県民会館大ホール)
 - 入場料 検討中
 - 会員交流会及び盛岡いのちの電話後援会発足30周年記念祝賀会の開催
 - 実施期日 2024年2月か3月
 - 会場 盛岡市内のホテルにて開催予定
 - 盛岡市ボランティア連絡協議会ボランティア祭り参加
 - 実施期日 10月22日(予定)
 - 会場 未定
- 組織活動
 - 定期総会
 - 日時 2023年5月18日(木)10:30～11:30
 - 場所 盛岡市総合福祉センター 3階 子供会研修室
 - 役員会の開催予定
 - 第1回 2023年4月25日
 - 第2回 2023年7月頃
 - 第3回 2023年11月頃
 - 第4回 2024年1月頃

寄付金の推移

(単位：千円)

年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
金額	4558	4763	4400	4906	6062	8336	7051	6919	6819	8319	8606	7715	11633	6530	7715	9407

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
金額	7113	8999	8215	9661	9253	7702	7620	7702	7706	7702	7440	6794	6742	7170	9230	



盛岡いのちの電話後援会役員

《顧問》	高橋真裕	前盛岡いのちの電話後援会会長
《会長》	田口幸雄	株式会社岩手銀行代表取締役会長
《副会長》	河邊邦博	社会福祉法人愛育園理事長
	工藤隆一	株式会社わしの尾代表取締役会長
	熊谷祐三	盛岡ガス株式会社取締役会長
《幹事》	荒道泰之	株式会社川徳代表取締役社長
	植村哲子	盛岡いのちの電話後援会会員
	及川正彦	盛岡いのちの電話事務局長
	佐藤克也	前いわぎんクレジットサービス社長
	清水健司	岩手県立産業技術短期大学学校校長
	清水成樹	株式会社開成エンタープライズ代表取締役
	高橋俊一	岩手県退職公務員連盟常任理事
	長岡美代子	盛岡いのちの電話後援会会員
	長葎常紀	宗教法人青龍寺住職
	平野佳則	株式会社平金商店代表取締役
	藤原誠徳	有限会社藤原養蜂場代表取締役社長
	伊藤裕子	盛岡いのちの電話後援会事務局長
	星智寿子	盛岡いのちの電話後援会事務局
《監事》	大澤英夫	株式会社大沢会計&人事コンサルタンツ代表取締役
	川下洋美	産業カウンセラー

2022年度に資金援助をいただいた方々

(敬称略)

個人会員

ア	泉山雅子	白井康雄	大澤英夫	小野佳
秋山顯一	伊藤裕子	内村博	大志田志づか	重茂淳彦・菊子
浅沼康揮	稲田耕基	エ	大志田マリ子	カ
浅沼浩	井上茂遠	藤典子	太田和子	柿木和夫
阿部榮子	岩浅武雄	オ	大森勢子	柿木康孝
阿部光孝	岩澤憲子	及川敬一郎	大和田剛史	加藤裕一
イ	岩根多喜男	及川理	岡田いずみ	加藤義男
石井慶子	ウ	及川正彦	小笠原味佐枝	金澤礼子
石川千恵子	上野真由美	及川昌彦	小川多津子	兼為美佳子
石幡裕子	植村哲子	大石富美子	沖田憲一	鎌田やえ子
石橋キミ	右京昌久	大澤克弘	織田信男	上舘文隆

一一 巧子 悦子 子志み 子一郎 子仲 次子 鶴光 子信教 正
 恭真 利優 修典 武陽 孝も 弓研 直敦 善しづ 千浩 久美子 誠貴 正香 瑠美子
 田本 山浦 治夫 敬武 村崎 本山 井井 松谷 月々 山口 山下 田田 沢田 水内 邊 15名
 松松 松丸 ミ 三三 皆川 三三 宮宮 ム 向村 村村 村村 モ 望ヤ 矢羽 山山 山山 ヨ 横吉 吉吉 米ワ 渡 匿名
 弘 子美 雄政 子子 子子 郎子 子樹 和守 子太郎 人子 子子 司子 シ典 昇穂 昭子 恵恒 恵子
 昌 恵政 良光 純敦 明清 美智 育将 美美 裕興 眞眞 正誠 律ト 克美 文令 壽淑 京子
 根 澤館 田川 田坂 澤崎 川谷 山山 場下 庫井 川野 間秀 男多 紀子 司子 シ典 昇穂 昭子 恵恒 恵子
 郷 二西 新又 沼沼 ノ野 野八 箱長 畑島 島馬 林ヒ 兵平 平平 平平 フ 福藤 藤藤 藤藤 藤古 ホ 堀堀 マ 幕
 子豊 子子 子雄 子勤 子子 子子 子史 古珠 志德 子久 一郎 嗣子 子子 好直 子子 子紀 治司 孝津 彦明
 祐 恵玲 泰幸 公晶 正聖 恭堯 宮真 一文 喜正 一祐 慶ア ヤコ 容ア ツ子 好直 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子
 橋橋 村澤 口口 内田 澤田 原花 中藤 崎代 田葉 葉葉 田ボ ヤ 町井 嶋橋 門岡 葭嶋 田村 村村 谷
 高高 高滝 田田 武武 田多 立立 田谷 田丹 チ智 千千 千ツ 辻ッ テ出 照ト 東百々 土土 ナ長 中中 中中 中中 中中
 城也 江悟 子春 尚恵 俊子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子
 政克 公晶 千正 勝ふ さ郁 洋博 牧弘 悦淑 惠千 賀仁 幸子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子
 木藤 藤藤 藤藤 藤野 口田 村條 田水 文字 石村 原木 木木 木木 田根 川橋 橋橋 橋橋 橋橋 橋橋 橋橋 橋橋 橋橋 橋橋 橋橋
 佐佐 佐佐 佐佐 佐佐 澤澤 澤澤 シ 島清 十文 白新 ス 菅鈴 鈴鈴 鈴鈴 須セ 関ソ 外夕 高高 高高 高高 高高 高高 高高 高高 高高
 幸博 子子 子彦 舞則 敏子 子子 ヤ子 一子 子子 二山 仁子 代子 子子 文駿 枝子 子子 美子 悟修 子子 彦也 昭子
 久邦 八サ 昭文 美野 行正 玲純 耀ミ 洋隆 ケイ 幸健 子子 山子 幸富 朋清 康一 恵恵 徳み きカ ナ 和仁 史杜
 口邊 村池 地池 池多 田村 村藤 藤藤 藤谷 谷田 小島 穂山 井峰 山藤 藤藤 藤藤 藤本 木木 木木 木木 木木 木木
 川河 川菅 キ 菊菊 菊喜 北木 木ク 工工 工熊 熊熊 コ 小木 小駒 小近 サ 齋齋 齋齋 齋齋 齋齋 榊坂 佐佐 佐佐 佐佐 佐佐 佐佐 佐佐 佐佐 佐佐

法人及び団体会員（順不同）

(株)東家	清水建設(株) 盛岡営業所	(医)真彰会 ひめかみ病院
(有)いとう仙	宗教法人 瀧源寺	(有)藤原アイスクリーム工場
(株)いわぎんクレジットサービス	(医社)創生会おとめがわ医院	(有)丸基屋
(株)いわぎんディーシーカード	(株)事務機商事	三田記念病院
いわぎんリース・データ(株)	下ノ橋教会婦人会	(株)三ツ星商会
岩手アルファ会(アルファクラブ東北)	消費者信用生活協同組合	宮古山口病院
(株)岩手銀行 総務部	(株)ベルジョイス	(株)宮崎商店
(株)岩手金属工業会館	白金運輸(株)	(株)メガネの水晶堂
岩手県民共済生活協同組合	(有)親和自動車整備工場	盛岡いのちの電話後援会
岩手県予防医学協会	(有)セーコー印刷	盛岡駅前おおば
岩手地所(株)	仙北町幼稚園	脳神経内科クリニック
岩手トヨペット(株)	専立寺	社会医療法人みやま会
(株)岩手日報盛岡広華会	(株)高建重機	盛岡観山荘病院
岩手キリスト教学園認定	(株)高光建設	盛岡ガス(株)
こども園ひかりの子	(医)谷藤眼科医院	盛岡市医師会
白井循環器呼吸器内科	(社医)智徳会未来の風せいわ病院	盛岡商工会議所
(株)エフエム岩手	(株)東亜電化	盛岡信用金庫
(株)エヌテイ-コンサルタント	東楽寺	盛岡ゾンタクラブ
(株)開成エンタープライズ	徳清倉庫(株)	盛岡大学・盛岡大学短期大学部
鹿島建設(株)盛岡営業所	トヨタモビリティパーツ(株)	・学生教職員一同
(株)川徳	(株)トヨタレンタリース岩手	日本キリスト教団盛岡松園教会
(株)木津屋本店	日本基督教団北上教会	盛岡ロータリークラブ
北日本建機工業(株)	日本キリスト教団日詰教会	モトモチ商事(株)
共益商事(株)	(医)仁医会 都南病院	山形村チャペル一同
共立医科器械(株)	(医)緑生会 西島こどもクリニック	山口北州印刷(株)
(株)小林精機	西松園内科医院	ユニック北東北販売(株)
(株)駒木葬祭	ネットトヨタ盛岡(株)	(株)吉田測量設計
(株)佐々木電機本店	(株)蜂屋	(株)ラクウン
医療法人財団正清会 三陸病院	(株)浜千鳥	(株)わしの尾
(株)ジー・アイ・ピー	東日本電信電話(株) 岩手支店	

正確を期したつもりですが、万一記載にもれや名前に誤字、脱字などがありましたら、申し訳ありませんが事務局までご一報ください。尚、お名前の記載を望まれない方はお申し出ください。